

わかくさ竜間リハビリテーション病院

## 地域連携だより No.3



### 新年明けましておめでとうございます！！

新春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。皆様におかれましては、新年度に向けて、忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。今年は診療報酬改定も控えており、今後の社会情勢も踏まえながら、皆様と情報交換を行い、より一層の連携を目指していきたい所存でございます。今年も旧年同様宜しくお願い申し上げます。

#### 《相談窓口のご案内》

入院のご相談、患者さんのお問い合わせは下記までご連絡下さい。

○地域連携課（4名） 主に入院相談の窓口を担当

高岸・中松・辻野・斎藤

○健康相談課（7名） 主に入院中の患者さんの支援を担当（1人1人の患者さんに担当相談員を配置）

島田・矢谷・藤岡・秀島・松山・道上・松田

\* 受付時間：月～日 9:00～16:30（祝日を除く）



社会医療法人 若弘会

わかくさ竜間リハビリテーション病院

〒574-0012

大阪府大東市大字龍間 1580

TEL：072-869-0116

FAX：072-869-0135

発行：平成 28 年 1 月

発行者：地域連携課 健康相談課

## 地域連携だより特別号



**歩行練習機器「ゲイトトレーニングシステム3 (BDX-GTM3)」を導入しました！！**

「歩行再獲得のため、より積極的な訓練を行う」という理念から歩行練習機器「ゲイトトレーニングシステム3 (BDX-GTM3)」を導入しています。近年のリハビリテーションにおいては、根拠に基づいた治療が求められておりガイドラインの整備が進んでいます。その中でも、下肢訓練の量を多くすることや、発症早期から歩行訓練や有酸素運動を行うことは筋力・持久力の向上を図る上で推奨されています。

歩行トレッドミルというと、一般的にはスポーツジムにあるような機器を想像しますが、歩行に特化した訓練機器ですので、タッチモニターを通じて歩行速度・傾斜・前歩き一後ろ歩き・歩幅等が細かく設定でき、常に歩行結果をフィードバックしながら訓練を進めることができます。訓練結果は付属のパソコンに記憶も出来るため、効果判定が数値で現れ達成感も得られるようになりました。また、目標心拍を設定すれば負荷量を調整し持久力運動としても有効に用いられます。

従来の訓練では難しかった長距離歩行の練習も、安全な環境で実施が出来るようになり汗をかいて歩行練習が出来るまで距離が延ばせています。徒手的なリハビリだけでなく、機器を用いたリハビリを導入していくことで、より有効な訓練を実施できる環境が整っています。



社会医療法人 若弘会

わかくさ竜間リハビリテーション病院

〒574-0012

大阪府大東市大字龍間 1580

TEL : 072-869-0116

FAX : 072-869-0135

発行 : 平成 28 年 1 月

発行者 : 地域連携課 健康相談課

療法部